



いぬかい 明佳

2014年10月10日発行 / 犬飼明佳事務所 名古屋市中川区野田2-333-D



県政通信

平成26年度 9月議会 一般質問に登壇

認知症の方の見守り体制強化を！



県議会一般質問に登壇

愛知県の認知症高齢者数は、平成22年の14万人に対し、団塊の世代が75歳以上となる平成37年には、25万人と推計されています。

また、昨年の徘徊による行方不明者は、811人（前年比76人増）となっています。

私は今議会で、認知症に対する正しい知識の啓発や見守り体制の強化を提案しました。



行方不明者の検索ネットワークの広域化について

認知症対策

県は認知症の徘徊対策として、行方が分からなくなった人を県内各市町村が連携して探す「広域検索ネットワーク」（仮称）を本年度中に整える方針を明らかにした。公明の犬飼明佳議員の質問に答えた。

県高齢福祉課によると、各市町村が独自に

設けている現在のネットワークを広域化。隣接県も含めた連携を想定し、市町村が行方不明者の情報を共有するための運用基準を盛り込んだ要領案を県が作成。有識者会議「県認知症施策推進会議」の意見も踏まえて要領を固め、運用する。

（中日新聞9月26日号 抜粋）



国立長寿医療研究センターを視察。認知症予防のための「脳活性化運動(コグニサイズ)」を体験。

若い世代への普及・啓発について

子どもの頃から認知症を理解する機会を増やすため、全ての小中高等学校での認知症サポーター養成講座の導入を求めました。県は、校長会を通じて各学校へ周知する等、多くの学校での講座の実施に取り組んでいくことを示しました。

一般質問
に登壇

交通安全条例が制定

安全安心なまちづくりを!



地域の方々から交通安全の意見交換を行う。

今議会での交通安全条例の制定に伴い、一般質問で事故死者の半数以上を占める高齢者と子どもの交通安全対策を重点的に行うよう取り上げました。



生活道路の安全を守る「ゾーン30」を推進。

大村知事の答弁

高齢者と子どもの事故防止を呼びかけるステッカー1万枚をタクシーに貼って頂くほか、飲酒運転防止ポスターを8千枚作成し、飲酒店で掲示して頂くなど、啓発運動を実施。年末年始にかけて、交通安全を呼びかけるテレビCMの放送と、これに連動した啓発イベントを県内各地で行います。

広島土砂災害の被災者にまごころの募金活動



魚住参院会長、ばば市会、木下市会、
党員さんらとともに救援募金活動。

「広島土砂災害被災者を支援する愛知県民の会」の方々街頭募金を行いました。被災者の方々の生活再建のための真心のご支援を呼び掛けました。

多くの方々が足を止め「被災地の皆さまのために役立ててください」と善意を寄せて下さいました。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。



日本赤十字社愛知県支部に寄託。

プロフィール

愛知県議会議員 **いぬかい明佳**

あきよし



- 生年月日 昭和47年9月10日(42歳)
- 出身地 愛知県一宮市(旧尾西市)
- 出身校 一宮市立尾西第三中学校
愛知県立一宮北高校
愛知大学経営学部卒業
- 居住地 名古屋市市中川区野田
- 家族 妻と娘(4歳)、息子(1歳)の4人家族
- 趣味 料理、読書
- 好きな食べ物 カレーライス・ラーメン・うどん

●略歴

- 1995年 鯉節メーカー「ヤマキ(株)」で、12年間、営業マンとして現場の最前線で勤務。
- 2007年 参議院議員魚住裕一郎の公設秘書として、4年間、東海・北陸を奔走。
- 2011年 愛知県議会に北区から初挑戦。真心のご支援により初当選。
- 現在、産業労働委員会 理事
公明党愛知県議員団 政策審議会長
公明党愛知県本部 青年局長

いぬかい明佳のホームページ
をご覧ください。

<http://www.inukai-wan.jp/>
「twitter」「Face book」でも最新情報を発信しています。